

開所した日光地区広域行政センター

研修室や蔵書施設も

完成した広域行政センター

〔前のページから続く〕
とになります。
そのためには、駐車場をはじめ、大規模なレクリエーション施設など、施設面の飛躍的な充

実をはからなければなりません。
一方、本市は古河グループを中心として、県内非鉄金属工業の支柱であり、在来の工業とも合せて、市内全業者数の約三

〇%が製造業就業という工業都市でもあり、林業、農業とともに、産業面の振興をはかることも、本市開発の重要なウエイトを占めています。

一般住民の教養研修の場としても、広く活用されます。
また、蔵書センター部門には二万冊の図書を収容する書庫と視聴覚教材室があり、このほか同部門の事業として、マイクロバス型自動車による移動巡回図書館も開設されます。

現在、保健所の一部を借りて運営している結核検診事業も近く同センターに移され、将来は「公害センター」なども併設する計画をすすめています。

研修センター部門には大小四室の研修室があり、学校教職員や市町村職員の研修をはじめ、

斎場、今市市高畑に建設

来春五月中に完成予定

同じく広域行政の事業である「斎場」の建設計画は、建設敷地、事業規模などがこのほど決定し、来春五月末完成を目差して近く着工されます。

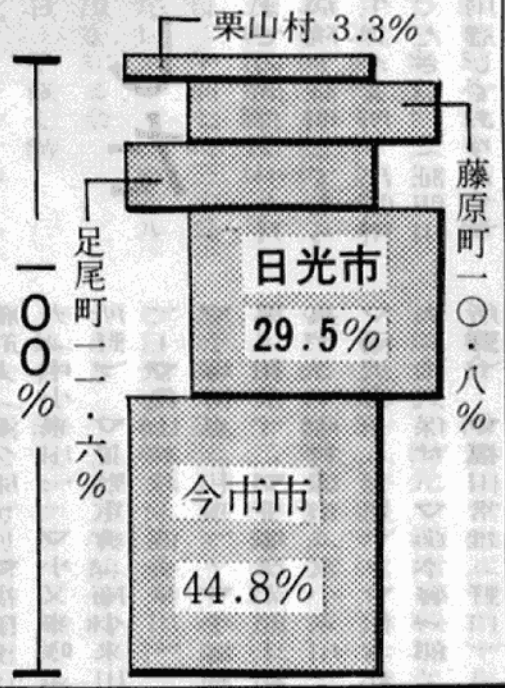
控室などを備えた斎場のほか、待合室・管理人住宅も設備され約八十台を収容できる駐車場も併設されます。

建設予定地は今市市高畑地内で、総事業費九千三百六十万円鉄筋コンクリート造りで、ロス

火葬炉には、特に煙の再燃装置を施し、無煙・無臭・低煙突の設計で、周辺に及ぼす影響を無くするよう努力されています。

市町村別人口比

総数96,422人 (45年国調)



みんなの声でみんなの市政を 市長へ手紙を書く月間 (9月)

市の仕事について、こうしてほしい、ああしたらよくなるなど、あなたは日ごろお考えではありませんか。

“市長への紙を書く月間”は、そうした意見や要望を、広く市民のかたからお寄せいただき、できるものから積極的に市政に反映させていこうというものです。

身近な道路、ごみ、し尿、学校のことなどなんでもけっこうです。お寄せいただいたお手紙は、お答えの必要なものは、ご本人に直接か、広報紙を通じてお答えします。

あなたのお便りが、市長と市民の間をしっかりと結び、住みよいまちづくりにひと役果たすのです。たくさんのお便りをお待ちしています。

【投稿の方法】

▷形式 封書・はがき等形式は問いません。

▷あて先 中鉢石町999日光市役所内「市長への手紙係」(もよりの支所・出張所にお届けいただいてもけっこうです。)

▷期間 9月1か月間

※期間内に投稿いただいたかたの中から、抽せんで20名のかたに粗品をお贈りします。

